

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 この説明書は、必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意 P.1	■設置方法 P.5
■輸送上のご注意 P.1	■タテ連結方法 P.6
■キャスター取付時のご注意 P.1	■外装パネルの着脱方法 P.6
■施工上のご注意 P.2	■ドア左開きの変更方法 P.8
■使用上のご注意 P.2	■マウントアングルの移動方法 P.8
■ファン使用時のご注意 P.3	■ブラインドシート(配線孔)の通線方法 P.8
■コンセントバー使用時のご注意 P.3	■各種オプションの取付方法 P.9
■各部の名称・仕様 P.4		

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
 なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■輸送上のご注意









注意	
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。
	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締め過ぎないでください。特に締め過ぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締め過ぎにより、ドア・側板などの変形やヒンジ部の破損の原因になります。

■キャスター取付時のご注意













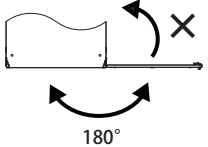
警告	
	本製品にキャスターを取り付ける場合は、キャスター適正荷重およびラック搭載可能質量を超えないようにしてください。転倒・破損・変形の原因になります。 【RD72-4(S)】適正荷重：175kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-5(S)】適正荷重：180kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-6(S)】適正荷重：240kg(4個使用の場合、製品質量を含む) (製品質量はカタログを参照)

注意	
	キャスターのストッパーを手で操作する際は、可動部に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。
	設置後は、必ずキャスターのストッパーを ON にしてください。転倒・破損の原因になります。

■施工上のご注意

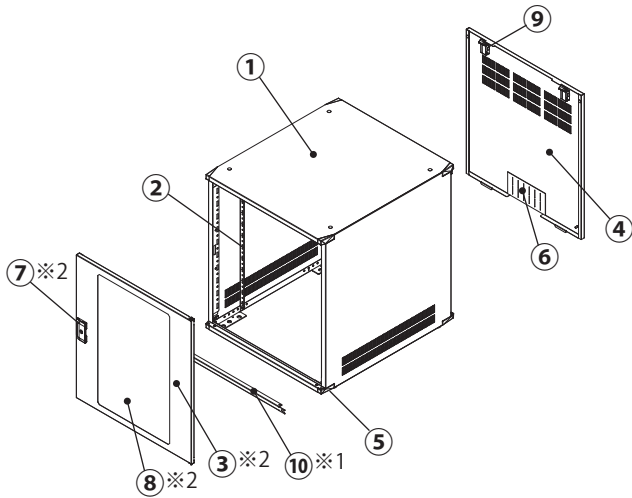
 警告	
 <small>アースせよ</small>	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。
	アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。地震などで転倒・破損の原因になります。
	電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。
	
配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。	
電源コードまたはケーブルを配線する際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。	
 注意	
	ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

■使用上のご注意

 警告	
	機器をスライドレールなどにより引き出す際は、2 段以上同時に引き出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。
	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレールなどにより引き出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。
	
重量物を搭載する際は、2 人以上で作業してください。また、適切な保護具を着用してください。けがの原因になります。	
保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。	
 注意	
 <small>指に注意</small>	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。
	機器をスライドレールなどにより引き出したり、収納したりする際は、機器とボデーの間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。
	次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・高温、高湿となる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・振動、衝撃のある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 ・水滴のかかる場所 ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・ヘコミ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。
	天井面へは局所的な荷重をかけないでください。変形の原因になります。
	本製品の上に乗ったりもたれ掛かったりしないでください。破損・転倒・けがの原因になります。
	
本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。また、機器を搭載した状態で横倒しにしないでください。変形・機器の破損の原因になります。	
ドアの開閉角度は約 180°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。ドアおよびヒンジ部の変形・破損の原因になります。 	
シリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	
シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	
シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	
簡易台板へ局所的あるいは偏った荷重をかけないでください。破損・変形の原因になります。 簡易台板 搭載可能質量：40kg	

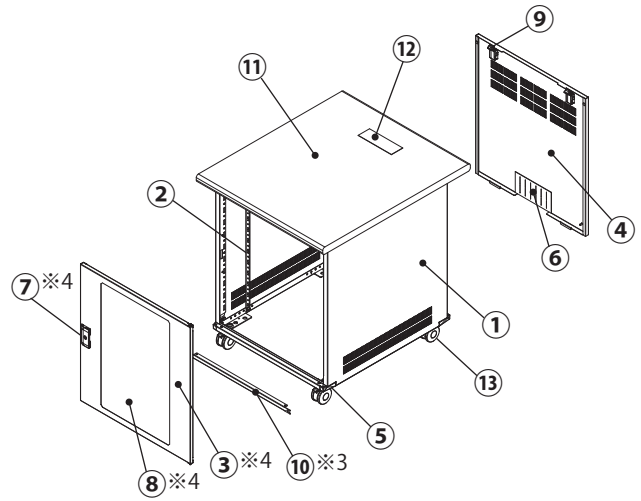
■各部の名称・仕様

【経済型スタンダードタイプ FVK】
【経済型ドアなしタイプ FVKN】



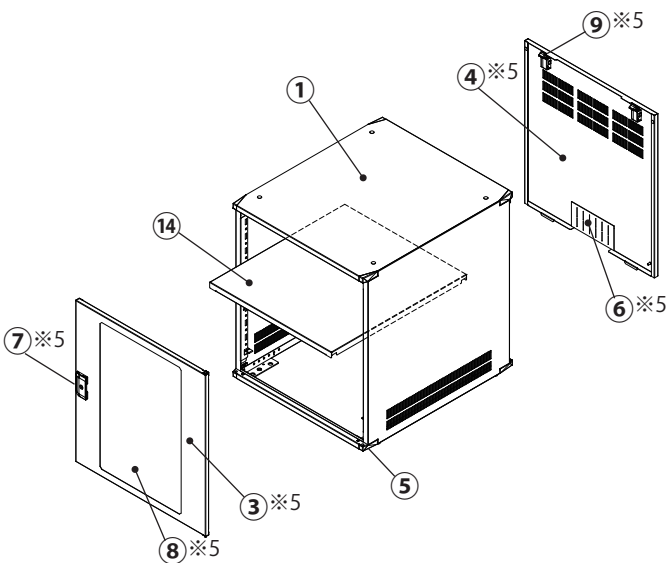
※1. FVKN-Eのみ適用
※2. FVKのみ適用

【デスクタイプ FVKD】
【ドアなしデスクタイプ FVKDN】



※3. FVKDN-Eのみ適用
※4. FVKDのみ適用

【台板タイプ FVK-T】
【オープン台板タイプ FVKP-T】



※5. FVK-Tのみ適用

番号	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	ボデー	鉄	0.8/2.3	1コ
②	マウントアングル	〃	2.3	2コ
③	ドア	〃	0.8	1コ
④	背面板	〃	〃	1コ
⑤	コーナーカバー	ABS	—	8コ
⑥	ブラインドシート	PE/PET	—	1コ
⑦	ラッチハンドル	ABS	—	1コ
⑧	ドアパネル	PMMA	2.0	1コ
⑨	スライドラッチ	PP/POM	—	2コ
⑩	調整パネル	鉄	0.8	1コ
⑪	甲板	鉄(メラミン化粧板付)	0.7/0.8/1.2	1コ
		ABS	—	
⑫	配線孔キャップ	〃	—	1コ
⑬	キャスター	鉄/ナイロン	—	4コ
⑭	簡易台板	鉄	0.8	1コ

●付属品

名称	数量						備考
	FVK	FVKN	FVKD	FVKDN	FVK-T	FVKP-T	
キー	1コ	—	1コ	—	1コ	—	ドア施錠用
六角ナット M10	4コ	4コ	4コ	4コ	4コ	4コ	レベルフット取付用
棚受金具	—	—	—	—	4コ	4コ	簡易台板取付用
取扱説明書(本紙)	1部	1部	1部	1部	1部	1部	—

ご注意

- ・ボデーは全溶接構造ですので、分解や現地組立はできません。
- ・組替仕様・オプション実装(同送)・個別対応により、付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- ・化粧ねじ【RD75】※は付属されていませんので、別途ご用意ください。

■設置方法

⚠警告



アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。
地震などで転倒・破損の原因になります。

⚠注意



ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

【対象機種：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T】

1. ラック本体底面の取付穴にあるプラフット (4 か所) を ⊖ドライバーなどを利用し、ラック内側からプラフットの中央部を押して取り外してください。(図 1)
2. ラック本体底面のアンカーボルト取付穴 (φ12 4 か所) に、アンカーボルト M10 で床面に固定してください。(図 3)

【対象機種：FVKD・FVKDN】

1. ラック本体底面にあるキャスター (4 か所) を取り外してください。(図 2)
2. ラック本体底面のアンカーボルト取付穴 (φ12 4 か所) に、アンカーボルト M10 で床面に固定してください。(図 3)

ボルト径	最小埋込深さ mm
M10	45

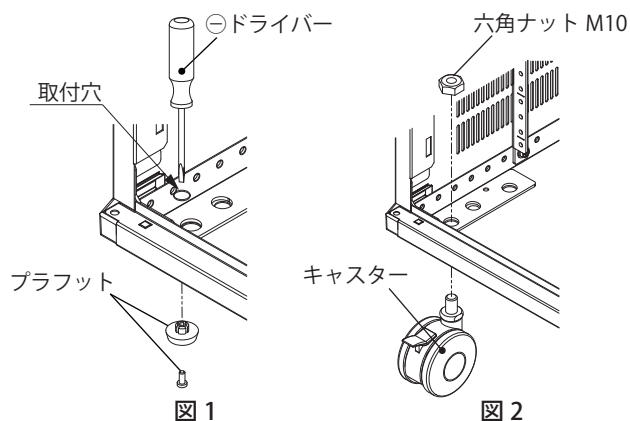
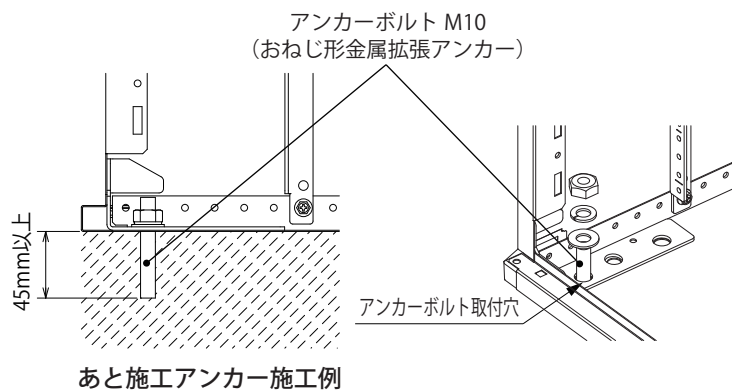


図 1

図 2



あと施工アンカー施工例

図 3

●簡易台板の取付方法

【対象機種：FVK(P)-T】

簡易台板を増設する場合は、簡易台板セット【RD154-VT】を別途ご用意ください。

1. ボデーの角穴 (4 か所) に付属の棚受金具を取り付けてください。(図 4)
2. 棚受金具 (4 か所) に簡易台板を載せてください。(図 5)

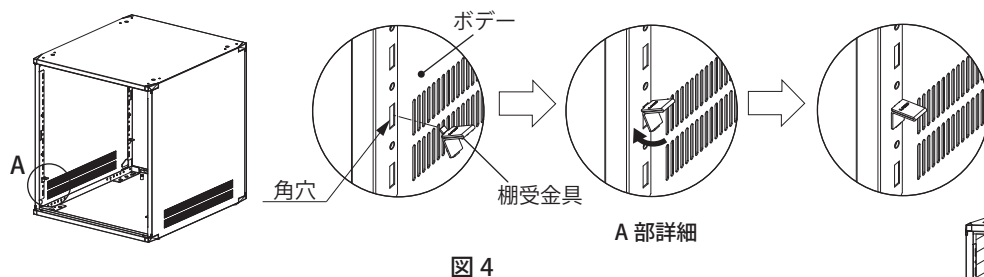


図 4

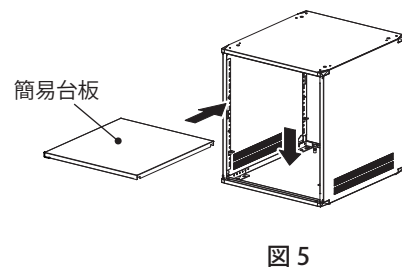
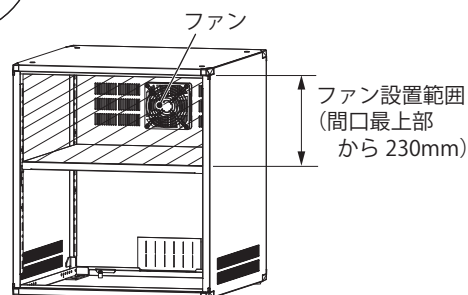


図 5

⚠ご注意

- ・ファンを設置した場合、ファン設置範囲 (間口最上部から 230mm) は台板の設置ができません。
- ・簡易台板はねじ固定されていません。キャスターを取り付けて移動する際や、ラックを持ち上げて移動する際、簡易台板や搭載物が落下するおそれがあります。



⚠注意



簡易台板へ局所的あるいは偏った荷重をかけないでください。
破損・変形の原因になります。
簡易台板 搭載可能質量：40kg

■タテ連結方法

【対象機種：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T】

連結に使用する六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8（各 4 コ）・平座金 8（8 コ）は、別途ご用意ください。

1. ラック本体底面の取付穴にあるプラフット(4か所)を⊖ドライバーなどを利用し、ラック内側からプラフットの中央部を押し取り外してください。(図6)
2. ラック内側から連結面のホールプラグ(4か所)を指で押しながら、ラック外側のホールプラグの爪部(2か所)を⊖ドライバーで押し取り外してください。(図7)
3. ラック天井面と底面の連結穴(φ10 4か所)に、六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8・平座金 8を取り付けてください。(図8)

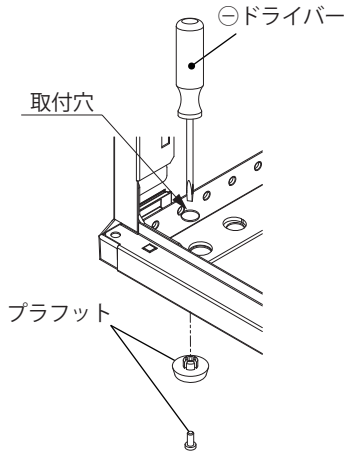


図6

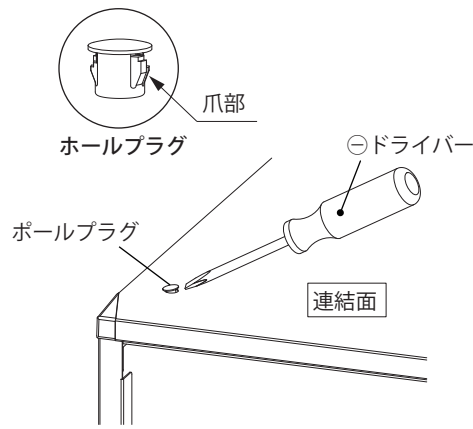


図7

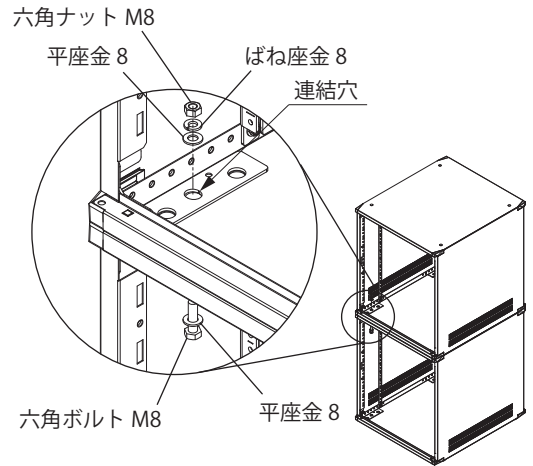


図8

ご注意

- ・高さは、2台合計 1600mm 以下としてください。
- ・搭載可能質量は、2台合計 100kg です。
- ・重量物は下段のラックに搭載し、重心位置を低くしてください。
- ・アンカーボルト固定など転倒防止対策を施してください。

⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M8	7.8 ~ 10.8

■外装パネルの着脱方法

●ドアの着脱方法

1. ドアを開けた状態で、上部のヒンジのレバーを下にさげてください。(図9)
2. ドア全体を斜め上に持ち上げ、ドアを取り外してください。(図10)
3. ドア取り付けは、逆の手順で行ってください。

ご注意

- ・ドアの取り付けは、ドア下部のピンが確実に取付穴に入っていることを確認してから、ドア上部のピンを差し込んでください。
- ・ドア取り付け後、ヒンジ(上部・下部)のレバーを横にスライドさせて、ドアが外れないか、がたつきがないかを確認してください。(図11)

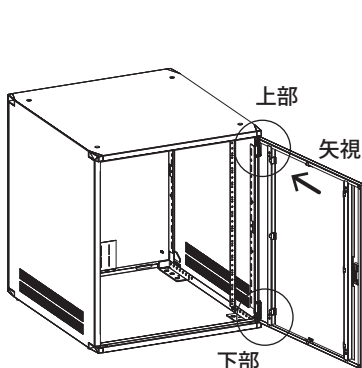


図9 上部

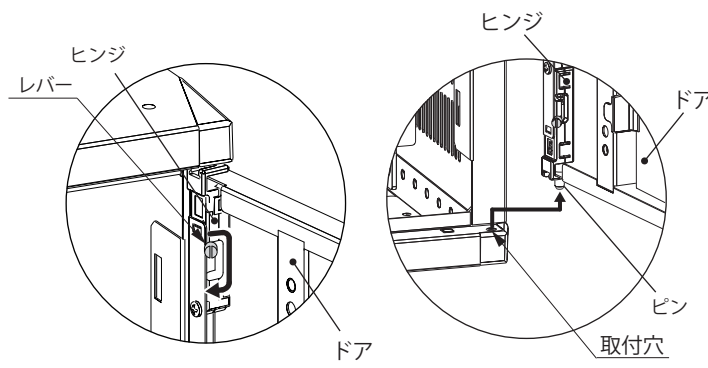


図10 下部

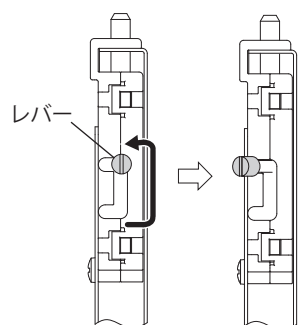
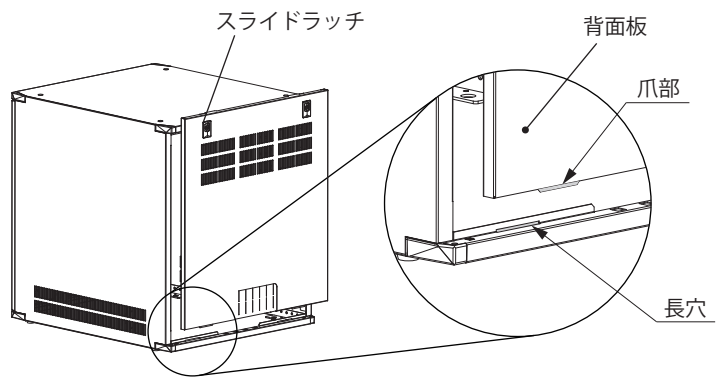


図11 矢視図

●背面板の着脱方法

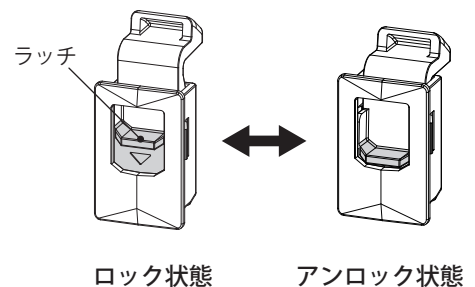
1. 背面板のスライドラッチを操作して取り外してください。(「●スライドラッチの操作方法」を参照)
2. 背面板全体を手前へ倒し、上へ持ち上げて下部の爪部(2か所)をボデーの長穴から抜いて、背面板を取り外してください。
3. 取り付けの場合は、逆の手順で行ってください。



●スライドラッチの操作方法

背面板の着脱は、スライドラッチで行います。

1. ラッチを下げると、外装パネルを取り外すことができます。
2. ラッチを上げると、外装パネルを固定することができます。

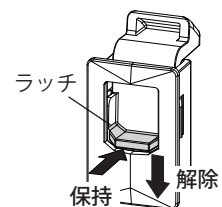


ラッチをアンロック状態に保持できる機能が付いています。

1. ラッチを下げ、奥に押し込むとアンロック状態を保持することができます。
2. アンロック状態からさらに下に押しすと解除することができます。

【ご注意】

外装パネルを取り付けた後に、ラッチがロック状態となり確実に掛かっているか確認してください。



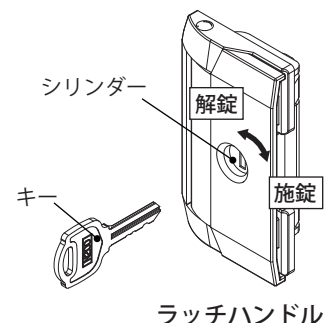
アンロック保持・解除方法

●ラッチハンドルの施錠・解錠方法

1. ラッチハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

【ご注意】

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



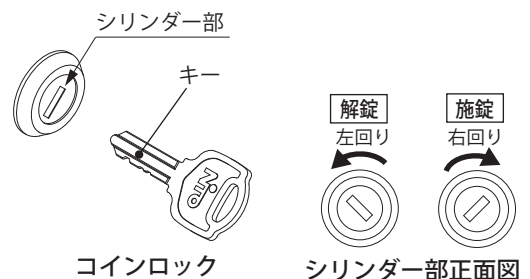
ラッチハンドル

●コインロックの施錠・解錠方法

1. コインロックのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠されます。

【ご注意】

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



コインロック

シリンダー部正面図

⚠ 注意

	シリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		シリンダーの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約 1 万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。
	シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		

■ドア左開きの変更方法

1. ドアを取り外してください。(P.6「●ドアの着脱方法」を参照)
2. ドアを上下反転させてください。(図 12)
【注意】 タテ 200 ~ 400mm タイプのドアは、下部にあるブッシュを取り外し、ドアを反転後、下部に取り付けてください。
3. ドアを取り付けてください。(P.6「●ドアの着脱方法」を参照)

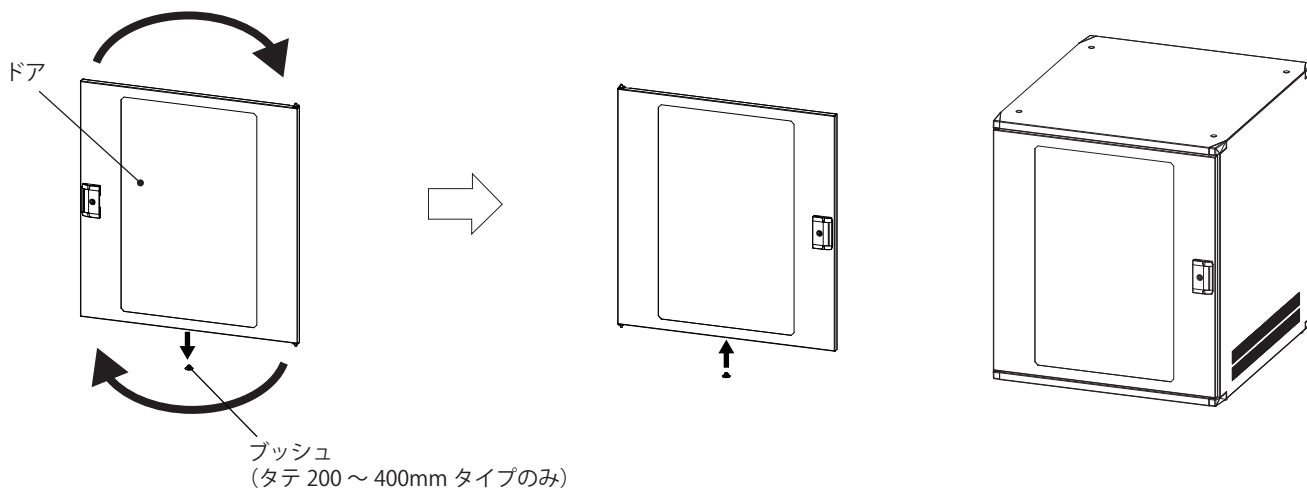


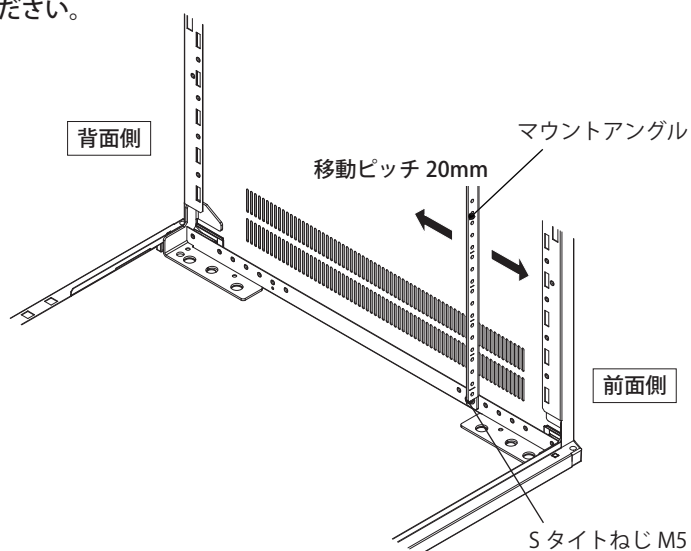
図 12

■マウントアングルの移動方法

機器の寸法に合わせて、マウントアングルを移動して調整してください。

【対象機種：FVK・FVKN・FVKD・FVDKN】

マウントアングルのSタイトねじM5(4か所)を取り外して、マウントアングルを移動(移動ピッチ 20mm)してください。



⚠ 注意



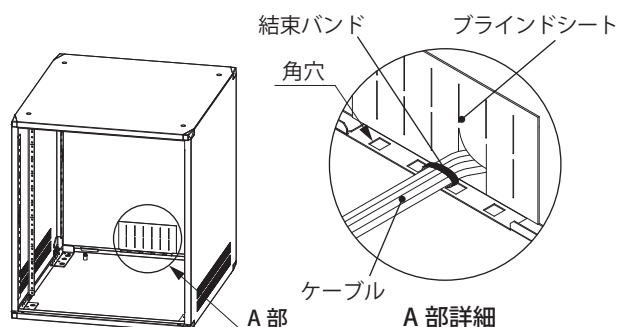
取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、Sタイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

■ブラインドシート(配線孔)の通線方法

背面のブラインドシートは、はさみやカッターナイフなどで切り込みを入れてケーブルを通線してください。
ケーブルは、底板の角穴を利用して結束バンドなどで固定することができます。



■各種オプションの取付方法

●マウントレール【FVK 用】【RD66-□EV (JV)】

1. 「表 1」のオプションサイズに合わせて、マウントレールの取付位置を決めてください。
2. マウントレール (R) (L) を付属の S タイトねじ M5 (各 2 か所) で固定してください。

【ご注意】

マウントレール端部にある上下識別の切り欠きを下にして固定してください。

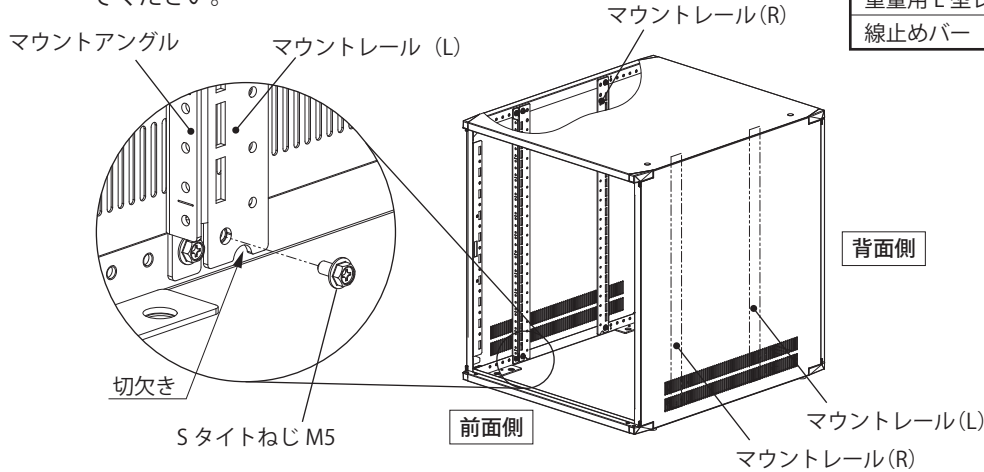


表 1

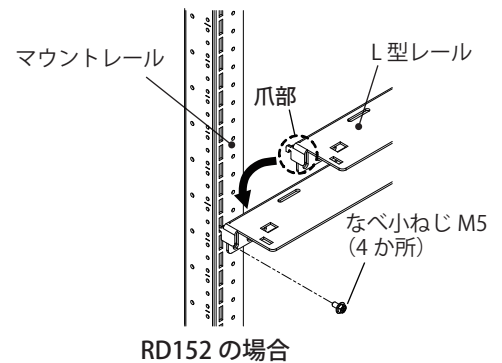
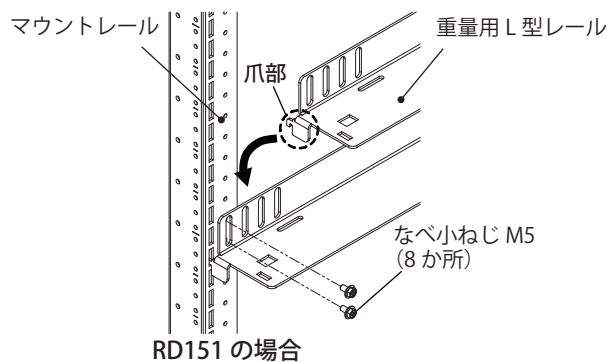
製品名	品名記号
重量用台板セット	RD151
スリット付台板セット	RD152
重量用スライド式台板セット	RD161
スリット付スライド式台板セット	RD162
山型レール	RD62
L 型レール	RD65
重量用 L 型レール	RD651
線止めバー	RD83

●重量用台板セット【RD151-□SN (K)】・スリット付台板セット【RD152-□SN (K)】

1. 重量用 L 型レール・L 型レールの取付

重量用 L 型レール・L 型レールの爪部をマウントレールの角穴に引掛けて、付属のなべ小ねじ M5 で固定してください。

【ご注意】 マウントレールに番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付けているか確認してください。

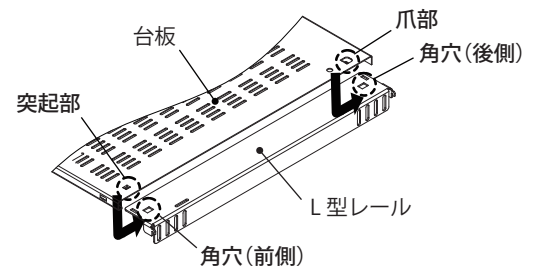


2. 台板の取付

※図は RD152 を示します。RD151 も同様に取り付けてください。

①台板の爪部を L 型レールの角穴 (後側) に差し込んで、位置決めしてください。

②台板の突起部と L 型レールの角穴 (前側) の位置が合うように、台板を置いてください。



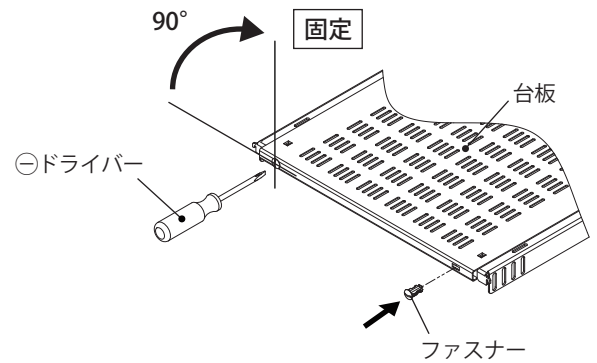
⚠ 注意



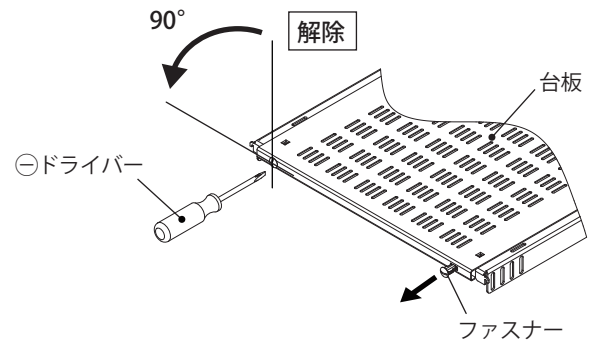
取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

③付属のファスナーを台板前面の固定穴に差し込んで、⊖ドライバーなどで右回りに 90° 回して固定してください。



④台板を外す際は、ファスナーを左回りに 90° 回して固定を解除してください。



⑤ファスナーを前面に引いた状態で、台板を外してください。

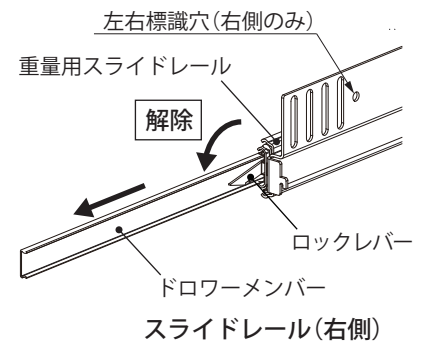
【ご注意】 ファスナーは完全に引き抜かないでください。

●重量用スライド式台板セット【RD161-□ES(K)】

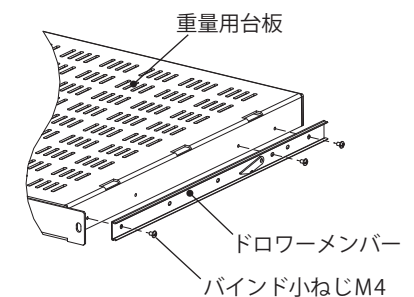
1. スライドレールの取付

①重量用スライドレールからロックを解除して、ドロワーメンバーを取り外してください。

重量用スライドレールの右側はロックレバーを下げて、左側はロックレバーを上げてロックを解除してください。



②ドロワーメンバーを重量用台板に付属のバインド小ねじ M4 で固定してください。

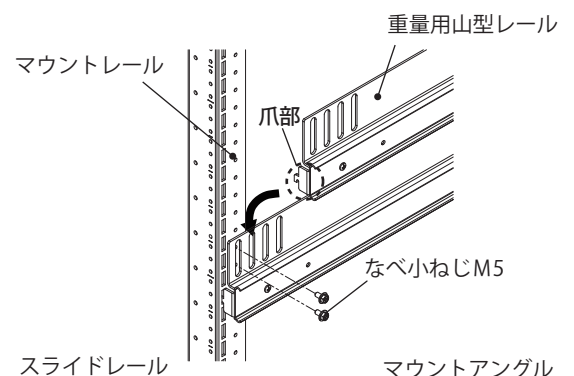


2. 山型レールの取付

重量用山型レールの爪部をマウントレールの角穴に引掛けて、付属のなべ小ねじ M5 (8 か所) で固定してください。

【ご注意】

マウントレールに番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付けているか確認してください。

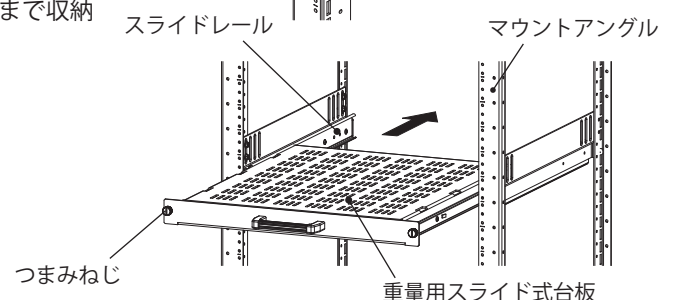


3. 重量用スライド式台板の取付

重量用スライド式台板を重量用スライドレールに挿入して奥まで収納して、つまみねじでマウントアングルに固定してください。

【ご注意】

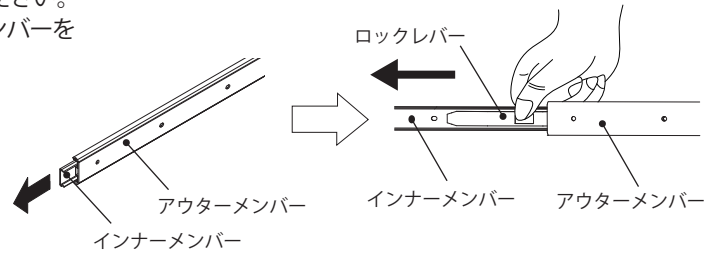
最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



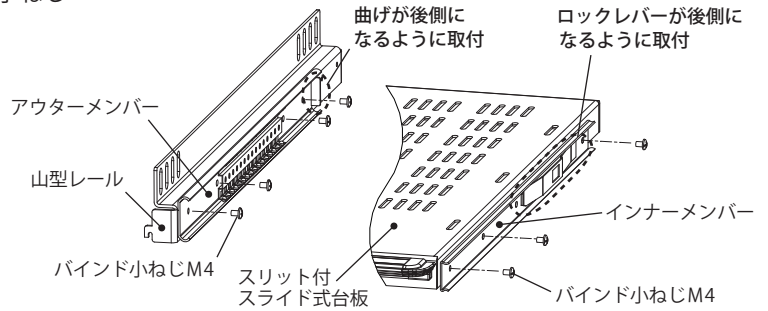
●スリット付スライド式台板セット【RD162-□SN(K)】

1. スライドレールの取付

- ①アウターメンバーからインナーメンバーを引き出してください。
ロックレバーを押し込んでロックを解除して、インナーメンバーを
アウターメンバーから取り外してください。



- ②山型レールにはアウターメンバー、スリット付スライド式台板にはインナーメンバーを、各々付属のバインド小ねじ M4(14か所)にて固定してください。

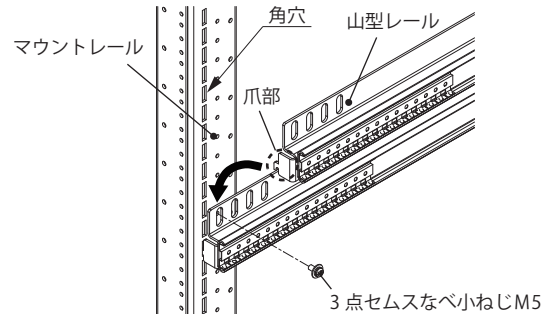


2. 山型レールの取付

山型レールの爪部をマウントレールの角穴に引掛けて、付属の3点セムスなべ小ねじ M5(4か所)にて固定してください。

ご注意

前後左右で同じ高さの位置に取り付けているか確認してください。

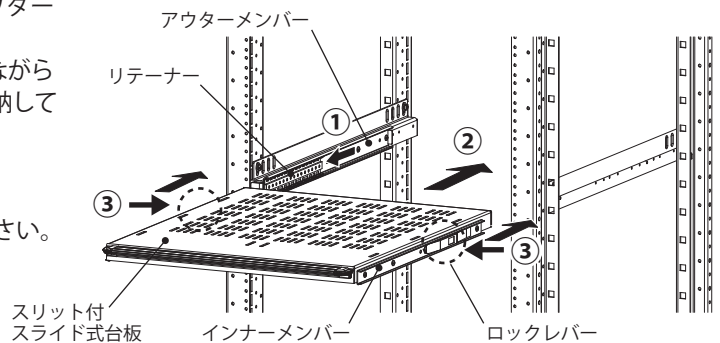


3. スリット付スライド式台板の取付

- ①アウターメンバーのリテーナーを前面側へ移動してください。
②スリット付スライド式台板のインナーメンバーをアウターメンバーに挿入してください。
③インナーメンバーのロックレバーを左右同時に押し込みながらスリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。
数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



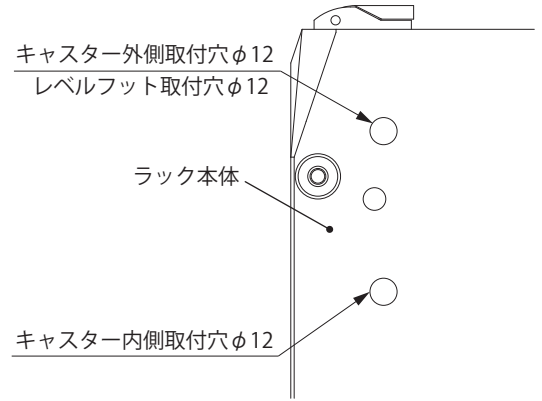
⚠ 注意							
	<p>台板取付用ファスナーは90°以上回さないでください。破損の原因になります。</p> <div style="text-align: center;"> <p>90°</p> <p>ファスナー</p> </div>						
	<p>取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M4</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.9 ~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M4	1.5 ~ 2.0	M5	2.9 ~ 3.9
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
M4	1.5 ~ 2.0						
M5	2.9 ~ 3.9						

●キャスター【RD72-4(S)・5(S)・6(S)】

ラック本体底面の4コーナーにあるキャスター外側取付穴φ12(4か所)に付属の六角ナット M10 で取り付けてください。キャスターとレベルフットを同時取り付けする場合は、キャスター内側取付穴φ12を使用してください。

【ご注意】

キャスターとレベルフット同時取り付けする場合は、【RD72-5(S)】+【RD73-6A】を推奨です。



⚠ 注意	
	ラック搭載可能質量を超えないでください。 落下・破損・変形の原因になります。 ラック搭載可能質量：100kg 50kg(キャスターを内側取付穴に取り付けの場合)

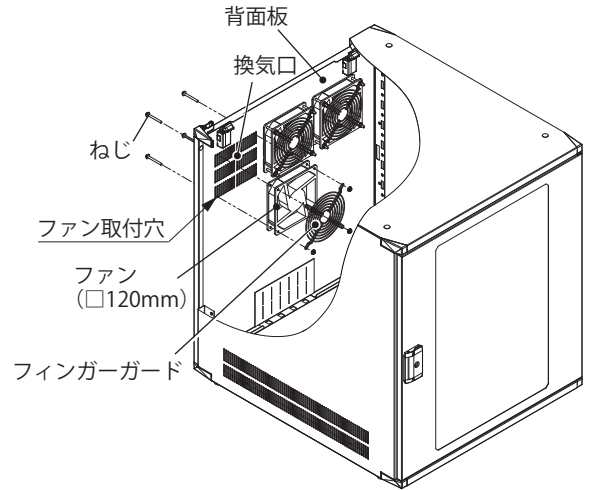
●レベルフット【RD73-6A】

ラック本体底面の4コーナーにあるレベルフット取付穴φ12に、ラックに付属の六角ナット M10 で取り付けてください。

●背面板へのファン(□120mm)

【対象機種：FVK・FVKN・FVKD・FVKDN・FVK-T】

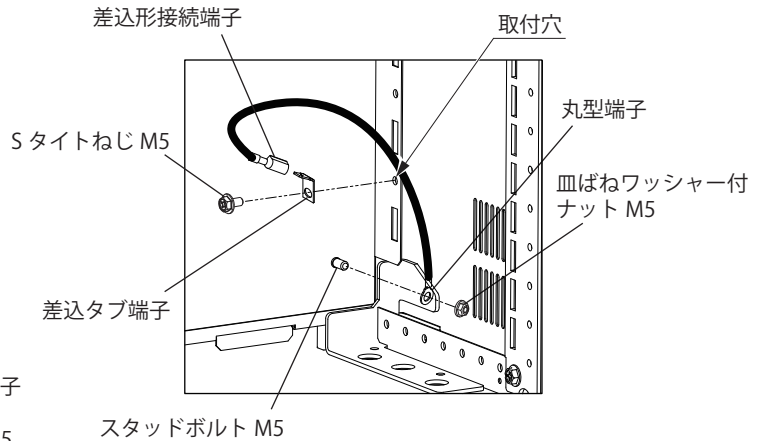
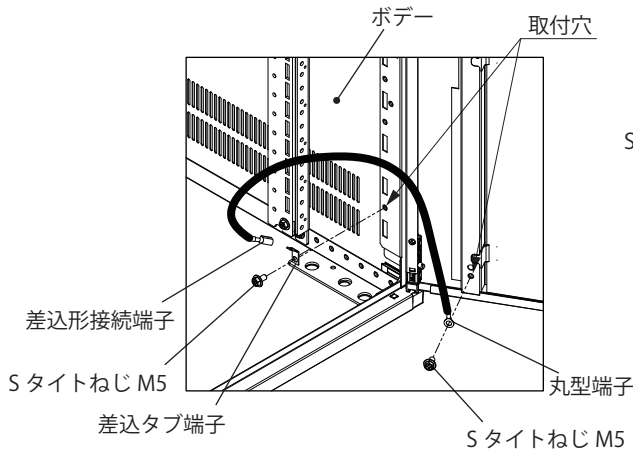
背面板内側からファン(□120mm)、フィンガーガードの順番で換気口へファン取付穴(φ4.5)を利用してねじ止め固定をしてください。背面板へのファン取付可能数は3コです。



⚠ 注意	
	けがのおそれがあります。 ・フィンガーガードを取り外したまま運転をしないでください。 ・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。 ・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源をOFFにし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。

●アース線【RD891-20C】

1. ラック本体のボデーの取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属のS タイプねじ M5 で取り付けてください。
2. 外装パネルの取付穴(φ4.6)またはスタッドボルト M5 へ、アース線の丸型端子側を付属のS タイプねじ M5 または皿ばねワッシャー付ナット M5 で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1. でボデーに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



⚠ 注意							
	取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締め付トルク N・m※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皿ばねワッシャー付ナット M5</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.9 ~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※	皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0	M5	2.9 ~ 3.9
	ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※					
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0						
M5	2.9 ~ 3.9						
※ただし、S タイプねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。							

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
TEL (0561) 64-0152

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2021年10月
B889454923